

校訓「ほんきで なかよく きまりよく」【学校創立151年・地域に支えられ、がんばる桑っ子】

学校教育目標 …「夢に向かい 感性を育む 桑っ子」

重点目標…「自ら感じ、考え、行動する子」

「自主自立」～心身ともに成長する夏休み～

6月、まだ梅雨に入っていないのに梅雨明けを思わせる猛暑、そして大雨。7月も猛暑と大雨の繰り返し。これまでのようにジメジメした梅雨が続き、終盤に大雨、そして青空とともに梅雨が明けるとい季節の移り変わりが大きく変化しています。地球温暖化の影響をこれほど感じるとは、本当に驚きです。このペースで温暖化が進むと、今の小学生が自分と同じ50代になるころにはどうなっているのか、とても心配になります。夏というと「閑かさや 岩にしみ入る 蝉の声」という芭蕉の句が思い浮かびます。50年後もこのように俳句で季節を感じられる日常が続いていることを祈るばかりです。

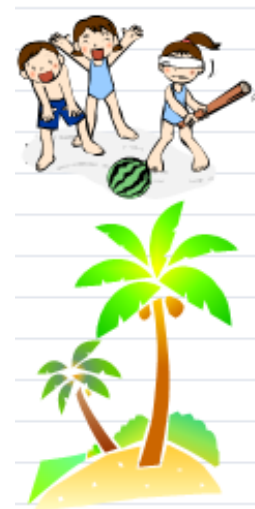
そんな日本の四季の消滅を予感させるこの4ヶ月でしたが、子供たちは元気よく、学習に運動に取り組めました。特に、児童会では「エンジョイ！ハッピー！プロジェクト」と題して、主体的に協力しながら楽しい活動を展開してきました。6年生を中心に大きく成長する姿が見られたことは何よりの成果だと思います。桑村小は小規模な学校ですが、その良さを大いに発揮し、これからも子供主体の活動を展開していくことが、魅力ある学校づくりに向け、とても大切であると考えています。

これから長期の休みに入ります。一旦学校という集団生活から離れることにはなりますが、子供の学びに休暇はありません。学校の授業ではなかなか体験できないことや自分のやりたいことなど、どんどん挑戦してほしいと思っています。ただ毎日を漠然と過ごすのではなく、何かに打ち込んだり、夢中になったりと、それがどんなことでも、楽しかった、感動した、充実していたと感じられることが大事です。そのためにも自分のことは自分でする「自主自立」という当たり前のことを日々実践し、心身ともに成長する夏休みになることを願っています。

今年は24時間テレビを見て憂鬱な気持ちになることはなさそうです（放送日が8月31日なので）。それでも、夏休みに入るときのワクワクとはまるで違うモヤモヤは誰しも感じると思います。夏休みを思う存分楽しめれば、きっと気持ちの切り替えもできます。宿題を早く終わらせておくこともストレスを少なくすることにつながります。子供によってすべき支援は違うと思いますが、8月28日の授業再開がスムーズに迎えられるようご協力をよろしくお願いします。

＜夏休みの心得＞ 自主自立 ～心身ともに成長する夏休み～

- 1 規則正しい生活をする
 - ・早寝早起き朝ご飯(三食しっかり食事をとる)
 - ・自分の立てた計画に従って生活する(午前中に学習は済ませるなど)
- 2 これまでに学んだことを復習する
 - ・計画的に学習する(宿題は、お盆前までが勝負！)
 - ・絵画、書写、工作、作文、自由研究などに挑戦する
- 3 長期休みにしかできない体験をする
 - ・文字数の多い本を読む ・地域やお家のお手伝いなどをする
 - ・自分のやりたいことに夢中になる ・休みだからこそ、とことん休む
- 4 命を大切にす
 - ・交通事故(自転車、歩行中、自動車同乗時のシートベルトなど)
 - ・水や火の事故(プールや海、川での水泳、花火など火気の扱い)
 - ・熱中症(水分補給、屋外での活動、帽子など服装による暑さ対策)



(文責：関口)

